ケースレポート

|  |  |
| --- | --- |
| 題　名 |  |
| 氏　名 |  |

本ケースのスーパービジョン（SV）について記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| スーパーバイザー名※ |  | 登録番号※ |  |
| SV期間・回数 | 　　年　　月　　日　〜　　年　　月　　日　　合計：　回 |

※認知・行動療法学会が認定する認知行動療法スーパーバイザーに限ります

ケースレポートの意義を損ねない範囲で、個人が特定されないようプライバシーが保護されているか、また、説明と同意が得られているかに関して、以下の項目で確認してください。

【プライバシー保護について】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1．個人を特定可能な氏名，イニシャルまたは「呼び名」を記載していない。 | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 2．生活史に関連する固有名詞(地名，社名や学校名)はアルファベットを用いている（A 市，B社，C施設など）。  | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 3．特に必要がない場合は，実年齢は記載せず，○歳代等と表示している。 | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 4．日付については，年を X 年とし，X＋1年，X－1 年といった記載を用いている。 | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 5．診断・治療・相談を受けている場合，その施設名ならびに所在地を記載していない（C 病院，D 市などとする）。 | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 6.検査（検査用紙・画像）等に含まれる症例を特定できる氏名や番号などを削除している。 | □いいえ | □はい | □非該当 |
| 7.個人が特定されうるような記載（特定の発言や癖，行動特徴，国籍，スポーツや芸術の功績等）はない。 | □いいえ | □はい | □非該当 |

【説明と同意について（どちらかが「はい」であることが必要です）】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象となる個人に対し，ケースレポートの目的・意義，報告する内容について本人が理解できるように十分に説明し，同意を得ている。 | □いいえ | □はい |
| 未成年者，成年被後見人，被保佐人及び被補助人が，個人情報の取り扱いに関して同意したことによって生ずる結果について判断できる能力を有していないなどの場合は，親権者や法定代理人等から同意を得ている。 | □いいえ | □はい |

（ケースレポート　テンプレート）

**【表紙（別紙）】**

レポート表題（日本語・英語）:

筆者名（日本語・英語）:

所属機関名（日本語・英語）:

**ケースレポート執筆上の注意事項**

ケースレポートを作成するにあたっては、以下の点に留意してください。これらの要件を満たすことが、臨床実践の正確な報告および認知行動療法における専門的なトレーニング過程の記録として重要です。

1. 認知行動療法の実施については，すでに終結した事例である

本レポートで報告する事例については、認知行動療法の実施については実施中のものではなく、すべてケースとしてください。フォローアップ等で面接が継続中であるかどうかは問いません。

1. トレーニングガイドライン各論との対応

本レポートは、申請時に記載した「認知行動療法トレーニングガイドライン 各論」のいずれかの内容に対応した実践に基づいて作成してください。対応している各論を明記することが求められます。

1. 主要アウトカムの変化の明示

クライエントの変化を明確に示すために、主要アウトカムの経時的変化を記載してください。できる限り、グラフや表などを用いて視覚的に示すことが望まれます。

1. スーパーバイザーの資格

本ケースにおけるスーパービジョンは、「認知行動療法スーパーバイザー®」の資格を有するスーパーバイザーから受けている必要があります。

1. スーパーバイザーの同意

レポート提出にあたっては、指導を受けた認知行動療法スーパーバイザー®から、当該レポートの提出について事前に同意を得てください。

1. スーパービジョンの頻度

スーパービジョンは、少なくとも「2セッションにつき1回以上」の頻度で実施されていることが求められます。その実施状況について、レポートに明記してください。

1. スーパービジョンの内容と臨床への反映

スーパービジョンで得られた指導内容が、どのように臨床セッションに活かされたのかを具体的に記載してください。スーパービジョンが治療過程にどのような影響を与えたかを示すことが重要です。

**1. 要約・キーワード**

日本語要約（400字以内）:

日本語キーワード（5語以内）:

**2. 本文**

**2.1 はじめに**

研究の背景、目的、意義などを簡潔に述べる。

**2.2 症例の概要**

対象者の基本情報（年齢、性別など）:

主訴および現病歴:

診断名（あれば）:

家族歴、生活歴、教育歴、職歴など:

**2.3 評価とアセスメント**

使用した評価尺度やアセスメント方法:

初回評価の結果:

**2.4 介入の計画と実施**

治療目標:

介入の内容（使用した技法やセッションの概要）:

介入期間と頻度:

**2.5 経過と結果**

介入中の変化や反応:

介入後の評価結果:

**2.6 考察**

介入の効果や意義:

成功要因や課題:

今後の展望や提案:

**2.7 倫理的配慮**

インフォームド・コンセントの取得状況:

プライバシー保護のための措置:

**3. 参考文献**

（本文中で引用した文献を記載）

**4. 図表（必要に応じて）**

※図表は本文の後にまとめて配置し、各図表にはタイトルと説明を付けてください。